

第 11 回全国和牛能力共進会 視察研修

平成 29 年 9 月 6～8 日の日程で、動物科学科 3 年大動物専攻 9 名は宮城全共の会場に視察に行きました。また、今年の家畜審査競技県大会を制した 2 年生の坂本文香さんは、県代表として全共家畜審査競技高校生の部に出場しました。その様子を報告します。

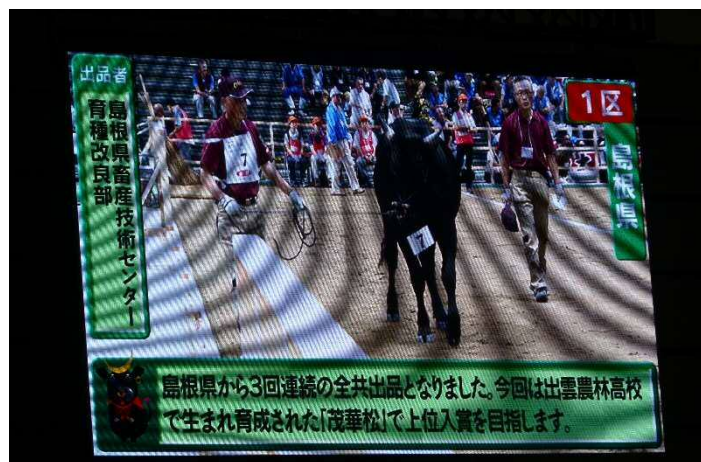
本校は島根県畜産技術センターと連携を組み、県の種雄牛造成事業を行っています。この取り組みは、種雄牛を生産するだけでなく、畜産に係る方々との触れ合いや県の獣医師による実演授業、高能力牛の生産、飼育管理を通して将来の担い手を本校から輩出することが目標です。その取り組みの中で平成 28 年 3 月に本校で誕生し、生徒が飼育を行った種雄牛候補「茂華松」が第 1 区の県代表に選ばれました。先輩方から引き継いだ今年の 3 年生が代表として会場に出向き、「茂華松」の全国デビューを見守りました。

第 1 区の審査時に、「茂華松」が出雲農林高校で出生、飼育されたことが場内に紹介されました。この連携事業の成果を全国で発信できた瞬間でした。

また、家畜審査に出場した坂本さんですが、上位入賞はなりませんでしたが学習の成果を発揮しました。全国和牛登録協会島根県支部、県畜産技術センター、JA しまね出雲地区本部の方々に勉強会では大変お世話になりました。



茂華松の入場



本校の取り組みが全国で紹介されました



家畜審査競技の様子



茂華松と記念写真

今大会で「茂華松」がまとっていた油単が本校に寄贈されました。玄関のスペースに展示しますので、ご覧ください。農業祭でも展示します。